

英語論文作成法 (2単位)

担当者氏名 宮本 太・浅野房世・小川 博・大石孝雄・林 良博・山口裕文・安藤元一・土田あさみ・増田宏司・佐々木 剛・三井裕樹

◆学習・教育目標

研究成果を教員の指導の下、論文執筆、投稿雑誌の選択、投稿、編集者や論文の審査員とのやりとりを経て論文貸し、学術誌(英文)に掲載されるまでの過程を経験することにより、研究者として必要な成果の論文による公表方法について学ぶ。研究成果が論文として学術誌に掲載されるまでの過程を経験する。

◆取り扱う領域(キーワードで記載)

野生動物学 伴侶動物学 植物共生学 人間植物関係学
動物介在療法学 植物介在療法学 英語論文作成

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	講義の進め方	英語論文公表の意義	指導内容と時間、指導への対応等について記録した月報を作成しておく。
2	発表内容の検討	論文テーマ検討	
3	参考資料の収集	執筆に必要な参考論文等の収集と内容の理解	
4	アウトラインの作成	論文概要の検討	
5	共著者への対応	共著の場合、分担部分の調整	
6	投稿雑誌の選択	論文の投稿先の検討	
7	投稿規定の確認	投稿雑誌の投稿規定の理解	
8	本文執筆(1)	図表作成、本文執筆、専門家による英文の校閲	
9	本文執筆(2)	図表作成、本文執筆、専門家による英文の校閲	
10	本文執筆(3)	投稿規定に則った書式の確認	
11	投稿	電子投稿、郵送等規定に則った媒材による原稿の送付	
12	審査結果への対応(1)	査読結果の理解と対応の検討	
13	審査結果への対応(2)	論文の修正、反論等、論文の受理まで	
14	原稿の校正法	校正用原稿の校正方法	
15	総括	報告書の作成	

◆教科書及び資料(授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所(発行年)
 適宜、必要に応じて支持する/ / ()

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)
 バイオセラピー学入門(講談社)/ / ()

◆評価の方法(レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

上記の指導を15時間以上受け、筆頭著者として論文が掲載された場合に単位を認定する。

◆その他受講上の注意事項

教員の指導と指導に対する対応等の記録を月報として提出し、承認を受けること。
 投稿雑誌は査読のある学術雑誌とする。